

# 武道授業

# 実践の概要紹介

# 柔道

## 豊田市の武道必修化における安全な柔道指導を行うための取組

豊田市の北部に位置する中核市である。2005年の6町村の編入（平成の大合併）によって、人口は36万人から42万人に増加した。また、面積は290km<sup>2</sup>から918km<sup>2</sup>に一気に拡大し、愛知県の市町村で最も広い都市である。市内には、標高1000mを超える地域もあり、多様な地形・自然条件を有している。

明治から大正にかけて、豊田市の前身である挙母町は養蚕・製糸業を中心に発展してきたが、昭和に入ってから急速に需要が減少したことから、豊田自動織機製作所自動車部の誘致に取り組み、昭和13年にトヨタ自動車工業株式会社（現トヨタ自動車株式会社）の挙母工場の誘致に成功し、「クルマのまち」として歩み始めた。その後、自動車産業が本格的に軌道に乗り始めたことから、昭和34年1月に市名を「豊田市」に変更した。



Jリーグ名古屋グランパスのホームスタジアムの一つでもある豊田スタジアム

豊田市教育委員会

### 1 はじめに

豊田市の武道指導の学習については、武道の必修化の前から種目選択制で実施している学校がほとんどであったため、比較的スムーズに移行できると考えられた。

平成24年度から中学校学習指導要領改訂に伴う武道必修化に向けて、豊田市教育委員会としては、平成23年度から各校の「武道学習の状況調査」、「武道の有段者数の

調査」、「施設・道具の準備調査」を行い、より円滑に実施できるように準備を進めた。

同時に、学校教育課の取組として、「武道指導」についてのリーフレットを作成して、武道指導を担当する教職員の基礎知識や基本的な考え方の共通理解を図った。

### 平成24年度版 リーフレット

#### 武道指導 「武道必修化」って？

旧学習指導要領では・・・  
1年「武道」か「ダンス」を選択できる  
2年「柔道」「剣道」「ダンス」から2つ選択できる

こう変わった  
新学習指導要領では・・・  
1年 武道を選択させる  
2年 武道を選択必修が可能である

学習指導要領「武道の目標（抜粋）」  
F 武道 (1) 次の事項について、技を高め練習を繰り返して中級以上の技術を身に付け、指導員に付与することができるようになる。  
ア 基礎  
イ 基礎  
ウ 基礎

武道の履修科目（豊田市中学校）  
平成23年度 柔道 9校 両方 3校 剣道 14校  
平成24年度 柔道 9校 両方 3校 剣道 15校

こんな場合は？  
男子は柔道、女子はダンスを選択させる NG  
男子は柔道、女子は柔道を選択させる OK  
12年で行った3年での武道を選択させる NG  
12年で行った3年での武道を選択させる OK

#### 平成24年度豊田市教育委員会の取組

中学校体育担当者会での講習  
柔道指導者講習会の開催 「安全で学習効果のある柔道指導」

平成24年6月18日(金) スカイホール豊田 会議室  
参加者 中学校体育主任 27名  
講習 「武道の授業の安全な実施に向けて」  
・ 豊田中教育課程について

豊田中中学校体育実科教育課程の作成  
＜素朴な＞  
・ オリエンテーション（特性、成り立ち、伝統的な考え方、学習の進め方、安全への配慮）  
・ 礼節、基本動作  
・ 礼節と基本動作  
・ 受け身（後ろ受け身、横受け身）  
・ 固め技（袈裟固め、横四方固め、上四方固め）  
・ 固め技を使った試合  
＜2学年＞ 柔道 1学年の内容に加えて  
・ 受け身（前受け身）  
・ 特異的な投げ技（膝落、体落とし）  
・ 固め技を使った試合  
（柔道のみ抜粋）  
学習指導要領に書かれている内容は、あくまで指導であり、授業内容で実践しなければならないものではない。各学校において、生徒の経験や経験、体力等の実態、施設の状況などに合わせて実施する。

武道の特性にふさわしい「もちろん安全指導で！」  
「学校体育」の事故ゼロをめざす

### 平成25年度版 リーフレット

#### 武道指導 「武道必修化」

＜これまでの学習指導要領＞  
1年 柔道、剣道、ダンス、ダンス、ダンス、ダンス  
2年 柔道、剣道、ダンス、ダンス、ダンス、ダンス  
3年 柔道、剣道、ダンス、ダンス、ダンス、ダンス

こう変わった  
新学習指導要領  
1年 柔道、剣道、ダンス、ダンス、ダンス、ダンス  
2年 柔道、剣道、ダンス、ダンス、ダンス、ダンス  
3年 柔道、剣道、ダンス、ダンス、ダンス、ダンス

学習指導要領解説「武道の目標（抜粋）」  
F 武道 (1) 次の事項について、技を高め練習を繰り返して中級以上の技術を身に付け、指導員に付与することができるようになる。  
ア 基礎  
イ 基礎  
ウ 基礎

武道の履修科目（豊田市中学校）  
平成24年度 柔道 9校 両方 3校 剣道 15校  
平成25年度 柔道 10校 両方 3校 剣道 14校

平成25年度豊田市教育委員会の取組  
「武道の授業の安全な実施に向けて」  
平成24年6月18日(金) スカイホール豊田 会議室  
参加者 中学校体育主任 27名  
講習 「武道の授業の安全な実施に向けて」  
・ 豊田中教育課程について

豊田中中学校体育実科教育課程の作成  
＜素朴な＞  
・ オリエンテーション（特性、成り立ち、伝統的な考え方、学習の進め方、安全への配慮）  
・ 礼節、基本動作  
・ 礼節と基本動作  
・ 受け身（後ろ受け身、横受け身）  
・ 固め技（袈裟固め、横四方固め、上四方固め）  
・ 固め技を使った試合  
＜2学年＞ 柔道 1学年の内容に加えて  
・ 受け身（前受け身）  
・ 特異的な投げ技（膝落、体落とし）  
・ 固め技を使った試合  
（柔道のみ抜粋）  
学習指導要領に書かれている内容は、あくまで指導であり、授業内容で実践しなければならないものではない。各学校において、生徒の経験や経験、体力等の実態、施設の状況などに合わせて実施する。

## 2 豊田市の現状と課題

豊田市には、102校の小中学校があり、約3万8千人の児童生徒が在籍している。そのうち、中学校は27校で、生徒数は、約1万2千人が在籍している。

現在、中学校の武道の学習状況としては、27校中、13校が柔道を、17校が剣道を履修している（うち、柔道・剣道の両種目を履修している学校は3校）。

また、豊田市内の体育担当者の武道における級、段の保有数は、柔道の有段者は初段21名、二段1名、四段1名であり、17校で23名の者が段位を有している。そして、剣道の級所持、段保有者数は、1級1名、初段7名、二段2名、六段1名で、9校に11名いる。

ている学校はない。相撲については、部活動としては設置されていないが、学校代表として地区中学校総合体育大会に参加している生徒がいる。

事前に調査した教職員の武道の指導に関する実態調査では、指導に不安を感じている教員が多くいることが判明した。特に、経験の浅い若手教員や講師らに多かった。また、必修化まではダンスを中心に行ってきた女性教員も、指導の機会が増えてくることに對して不安を感じていることがわかった。

さらには、技術の習得や向上のための指導に関することだけではなく、事故やけがの対応への心配などを多く抱えていることもわかった。

・緊急時の連絡体制  
・事実関係の記録と保管  
②施設・設備を整える安全対策の実施

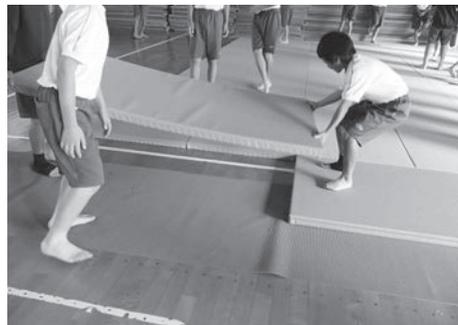
して、平成24年度に教育行政課（現在の学校づくり推進課）が、施設・設備を整える安全対策を施した。中でも、柔道実施校13校の安全性を最優先し、授業開始時までに対



固定式木柱



滑り止めシート



武道場があり、武道場のない2校は、体育館で剣道の授業を実施している。

柔道は剣道に比べ、道具の整備に費用がそれほどかからないが、設備面では費用よりも手間がかかり、学校現場の授業では、畳の敷詰めなどや片付けなどに多くの時間をとられていた。また、活動中の畳のずれを直していくことに気を遣い、時間を割かれることが多かった。

## 3 豊田市教育委員会の取組

柔道必修化については、「安全面」を心配する声や、教員だけでなく、保護者の間からも多くあがっていた。安全面を不安視するあまり、技能の習得が鈍くなつては、武道の学習効果を十分に期待することは出来ない。

①臨時体育担当者会議の開催  
必修化が完全実施となる直前の平成24年2月に、「臨時体育担当者会議」を開催した。全中学校1名参加で、武道指導を安全かつ円滑に行うために、次のような内容

の整備を完了させた。安全対策の内容は、次のとおりである。

【これまでの各学校の安全対策】  
・既存の固定式柱を使用：3校  
・武道場全面に畳を敷詰めて固定：3校

13校の柔道指導実施校のうち、実に7校が畳の固定に対して対策を立てられなかった。そこで、この7校を対象に固定式木柱等の取付け整備を行った。具体的には、木柱及び固定用金具の新規取付け整備を行った学校が1校、これらの補充整備を行った学校は6校だった。

③安全で学習効果のある柔道指導講習会

安全な環境整備を進める一方、指導者の育成の研修会にも力を入れてきた。もちろん、「安全面」を重視したものである。

愛知県みよし市立南中学校の吉野嘉郎校長先生を講師として招聘し、24・25年度の2年間を通して、「安全で学習効果のある柔道指導Ⅰ（基礎編）」を3回、「安全

これらの方針をふまえ、「安全で学習効果のある柔道指導」をテーマに改善に向けた取組を実施した。

で実施した。  
□柔道における事故の要因と発生メカニズム  
□指導者の責任と安全配慮義務  
□けがや事故を防ぐための方策  
・指導計画の立て方  
・基本的な心構え

・安全に必要な配慮事項  
・健康管理とコンディショニング  
・施設・設備・服装・環境の安全点検  
□けがや事故が起きたときの対応

で学習効果のある柔道指導Ⅱ（実践編）」を1回の計4回を継続して行ってきた。

実技指導の内容については、基礎から応用まで段階的に指導することに重点をおき、授業中の具体的な場面や生徒の動きを想定した指導方法のポイントを、事例を挙げながら説明していただいた。「安全面」にも配慮し、「学習効果」も期待できる柔道指導の講習



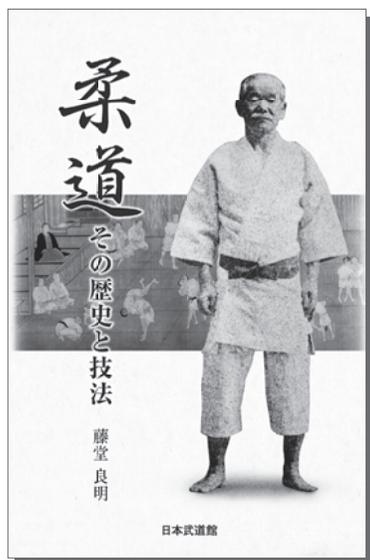
講師：愛知県みよし市立南中学校 校長 吉野嘉郎先生

好評発売中!

# 柔道 その歴史と技法

筑波大学体育系教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円+税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた武道としての柔道、を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

## 目次

<b>第一章 組討ちの起こりと技法</b> 体術の起こりと技法 組討ちの体系化と技法	<b>第三章 講道館柔道の歴史と技法</b> 講道館柔道の創設と技法 嘉納治五郎の乱取開発 講道館柔道の行事と整備 警視庁武術大会の勝利と技法 学校体操への柔道導入の試み 学校における柔道普及の実態	<b>第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法</b> 第二次大戦中の柔道界と技法 第二次大戦後の柔道禁止と復活 格技柔道から武道柔道へ 女子柔道の競技化と技法
<b>第二章 柔術諸流派の歴史と技法</b> 竹内流腰廻 関口新心流柔術 起倒流柔術 起倒流柔道 直信流柔道 真之神道流柔術 天神真楊流柔術	<b>第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題</b> 柔道技法の変遷と特徴 柔道の国際的普及と発展 段位制度の国際比較 柔道の国際化と課題	



「安全で学習効果のある柔道指導Ⅰ・Ⅱ」基礎編



「安全で学習効果のある柔道指導Ⅲ」実践編

## 4 おわりに

柔道指導における「安全面」への配慮は、必修化に対して最もクリアしなければならぬ項目の一つである。幸いに本市では、重大な事故は今までに発生していない。今後も、子どもたちが安心して授業が受けられるような環境を整備していきたいと思っている。

また、生徒主体で学びの多い魅力ある授業の展開のために、今後は、「授業内容の充実」「指導者の指導力の向上」を趣旨とした研究会の充実、「外部指導者の積極的な活用」のための情報提供やたらきかけを行っていききたいと思っている。

会は、参加者の不安を取り除き、今後の授業での柔道指導に自信をもって取り組める研修会となった。特に、昨年11月に実施した最後の実技編は、市内の中学校を講習会の場として計画し、実際の中学生の体力や性差、個々の技に応じた生徒の動きなどに焦点を当てて、詳細な留意点を確認した。参加者は、指導における視野が広がり、これまでの基礎・基本編の講習内容に加え、応用編としてより

充実した実技演習を行うことができた。

④講習内容を全校へ配信

2年間の講習会のまとめとして、実践編の内容を動画にまとめ、市内の学校との情報ネットワークシステムに配信した。市内の小中学校の教職員なら、いつでも何度でも指導のポイントを確認することができるので、今後、安全な柔道指導における効果が高まることへの期待も大きい。



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158